

2021年7月26日

相鉄線海老名駅改良工事について

相模鉄道株式会社

相模鉄道(株) (本社・横浜市西区、社長・千原 広司) では、相鉄線海老名駅改良工事において、架設が完了した鉄骨の一部に不具合が発生し、原因を特定するための調査を行うこと及びそれにより新駅舎の開業スケジュールに遅れが生じることをお知らせしました。(2021年3月11日付、相鉄グループウェブサイト文書「海老名駅新駅舎開業スケジュールの遅れについて」 <<https://cdn.sotetsu.co.jp/media/2021/news/train/013-2021-03-11.pdf>>)

今般、発注先の施工業者(共同企業体代表: 東急建設株式会社) による調査の結果、杭工事の施工記録に齟齬があること、また基礎杭に先端不良が確認され、これに起因して2022年度に予定していた海老名駅新駅舎開業が遅れる見込みであるとの報告を受けました。なお、具体的な開業スケジュールについては現在精査しております。

当社は施工業者に対して、外部者を交えた調査委員会を設けて施工記録の齟齬に関する詳細な調査を行い報告すること、また基礎杭の不良箇所を修復することを要求し、今後は適切な対策の実施と品質管理の徹底を図り、より安全な工事品質の確保に努めるよう厳重に注意しました。

引き続きお客さまの安全を最優先に工事を進めてまいります。また、列車の運行に支障を及ぼすことはございません。海老名駅をご利用いただきますお客さまには長期にわたり大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い致します。

以上